記者発表資料
発表後の使用自由

一般国道３２９号　石川バイパス全線４車線化
“ゴールデンウィーク前に全線４車線供用”
【平成１６年４月２８日（木）10:00　供用開始】

バイパス開通により旅行時間が短縮、交通渋滞が緩和！

- 出勤時の国道329号（金武町屋嘉～沖縄市登川間）の旅行時間はバイパス暫定２車線供用前の２７分から全線４車線供用後はバイパスを通ることにより約１７分（予測値）に短縮されることが見込まれます。
- バイパスの全線４車線供用により、現国道329号の渋滞損失額がバイパス供用前（H14）の値より約３０％（予測値）削減することが見込まれます。

平成１７年　４月２１日（木）

沖縄総合事務局開発建設部道路建設課　（TEL098-866-0091）
沖縄総合事務局北部国道事務所　（TEL0980-52-4350）

問い合わせ　沖縄総合事務局開発建設部道路建設課（098-866-0091）
課長　田　中（内線４２１１）
課長補佐　米　須（内線４２１２）

沖縄総合事務局　北部国道事務所　（0980-52-4350）
副所長　小　島（内線２０４）
工務課長　照　屋（内線４１１）
調査課長　仲宗根（内線４５１）

一般国道３２９号　石川バイパス全線４車線化
“バイパス交通がさらにスムーズに！”

１．石川バイパスについて

石川バイパスは、名護市を起点とし那覇市までの沖縄本島の東海岸の主要地を結ぶ延長８７㎞の一般国道３２９号のうち、交通混雑の著しい石川市街地の交通混雑緩和を目的に金武町屋嘉から沖縄市後原に至る８．２㎞の４車線バイパスとして計画されました。

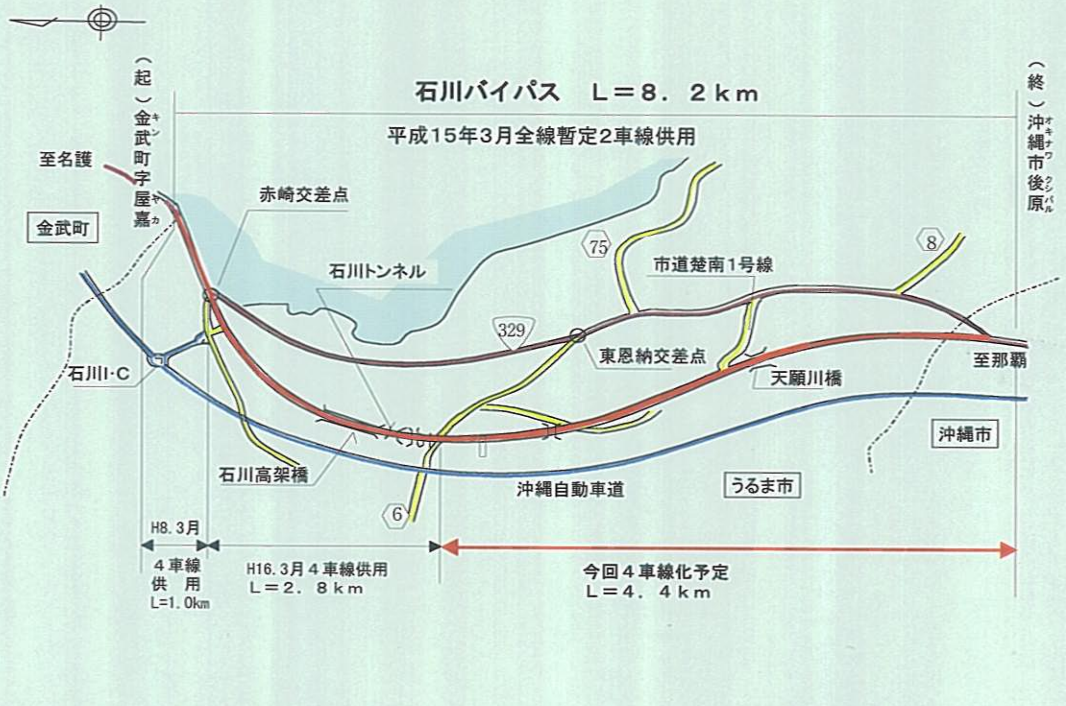
位置図

２．事業実施と供用について

石川バイパスは昭和６３年に事業化し、平成元年度に用地買収着手、平成２年度から工事着手しました。これまで、平成７年度に赤崎交差点から県道６号線間を暫定２車線の供用を行い、平成１４年度に県道６号線から終点の沖縄市後原間を２車線で全線暫定供用を行いました。さらに、平成１５年度には赤崎交差点から県道６号線間を４車線で供用しました。

今回、県道６号線から沖縄市後原の４．４ｋｍを４車線で完成供用することになりました。（供用日時：平成１７年４月２８日（木）１０：００）

これにより石川バイパス全線が４車線となり、完成供用となります。



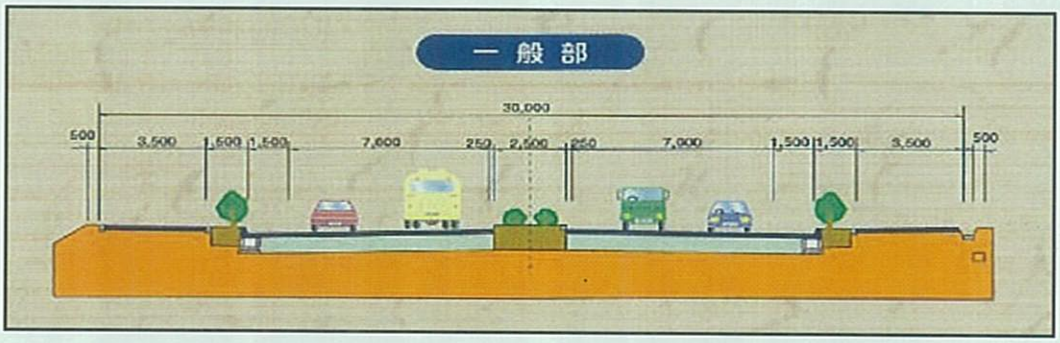
○これまでの供用経緯

平成７年度	２．８ｋｍ	２車線供用（赤崎交差点から県道６号線）
平成１０年度	１．０ｋｍ	４車線供用（金武町屋嘉から赤崎交差点）
平成１２年度	２．１ｋｍ	２車線供用（うるま市石川山城から同石川楚南）
平成１４年度	０．５ｋｍ	２車線供用（県道６号線からうるま市石川山城）
	１．８ｋｍ	２車線供用（うるま市石川楚南から沖縄市後原）
	：	
	８．２ｋｍ	全線暫定２車線供用
平成１５年度	２．８ｋｍ	４車線供用（赤崎交差点から県道６号線）
平成17年4月28日	４．４ｋｍ	４車線供用（県道６号線から沖縄市後原）

○諸元

道路規格	第４種第１級
区間	金武町屋嘉から沖縄市後原
延長	８．２ｋｍ（H17年4月28日　４車供用４．４ｋｍ）
設計速度	６０ｋｍ／ｈ（規制速度５０ｋｍ／ｈ）
車線数	４車線
事業費	約４７０億円
費用対効果(B/C)	３．５

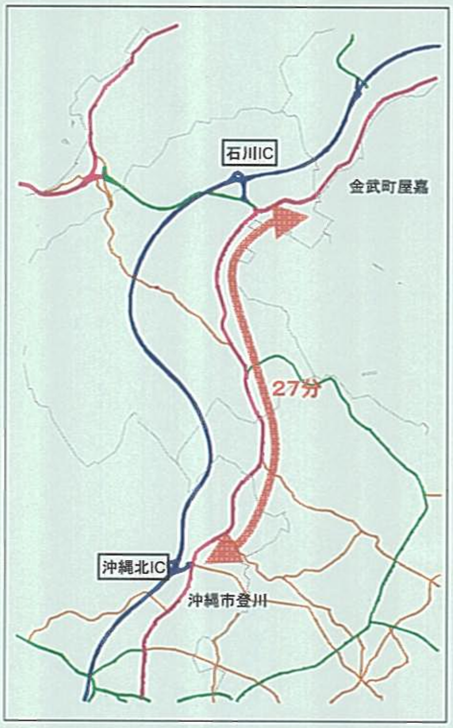
○横断構成



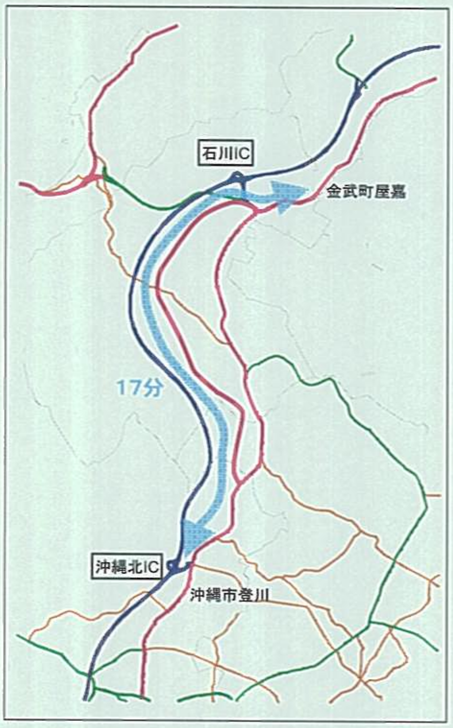
一般国道329号石川バイパス ● 平成17年4月28日開通

バイパス開通により旅行時間が短縮！

・出勤時の国道329号（金武町屋嘉～沖縄市登川間）の旅行時間はバイパス暫定2車線供用前の　27分から全線4車線供用後はバイパスを通ることにより17分に短縮されることが見込まれます。

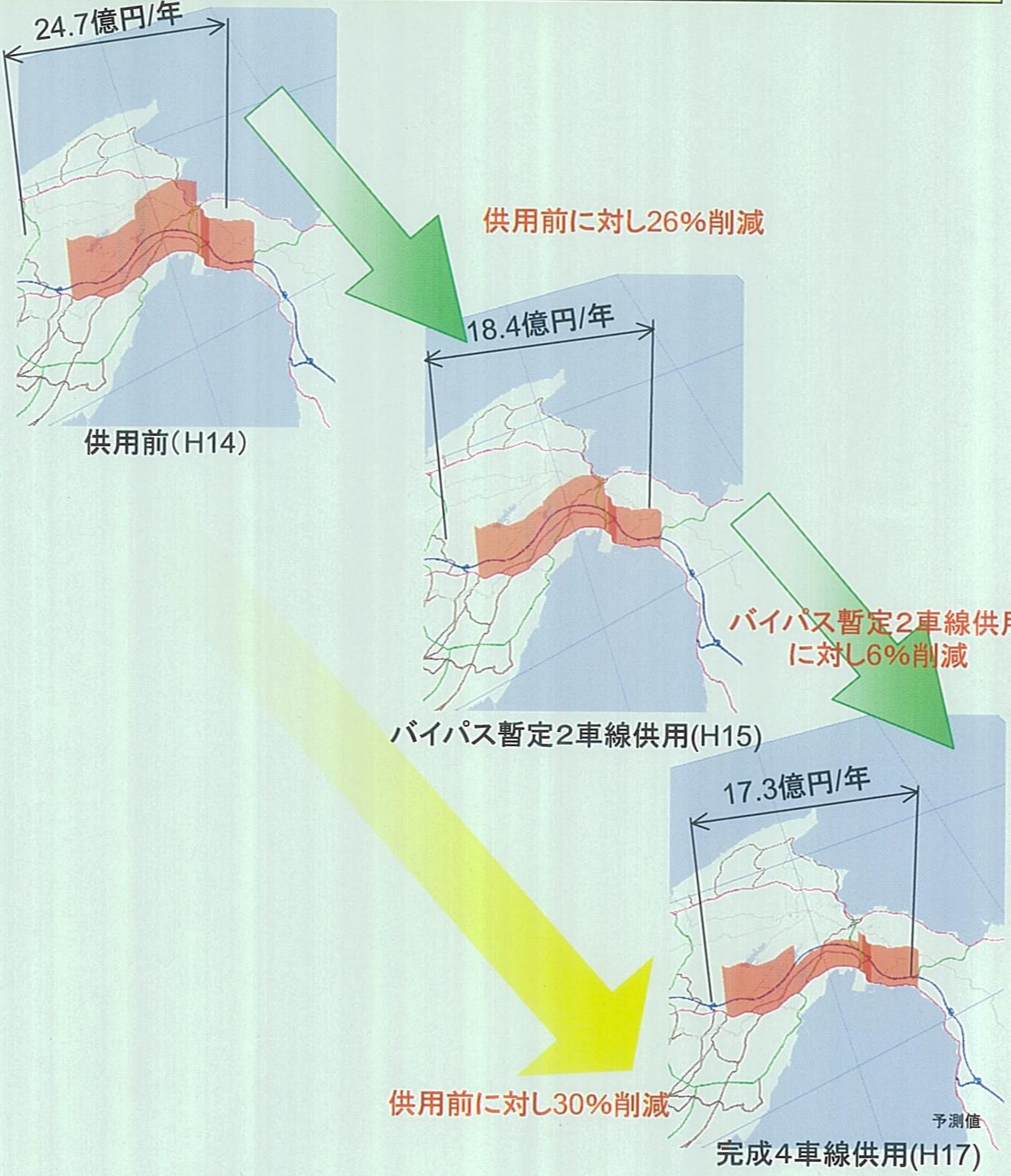


石川バイパス供用前



完成4車線供用

旅行時間
（金武町屋嘉～沖縄市登川）

バイパス開通により交通渋滞が緩和！

・バイパスの全線4車線供用により、国道329号の渋滞損失額がバイパス供用前（H14）の24.7億円/年から17.3億円/年（現道部とバイパス部の合計）と約30%（予測値）の削減が見込まれます。